



研究部HP 版

第 12 版 教育研究部 令和3年1月発行

(文責:細井)

～ なぜそうするのか？ ～

今回は「行動の機能」、すなわち「行動する理由」についてみていきます。大別すると3つに分けることができます。

1 なぜそうするのか？ ～ 強化子を獲得する行動 ～

- ① X君は、彼のタブレット端末を使っている生徒がいることに気付きました。彼がその生徒をたたき、その生徒はタブレット端末を返しました。
- ② X君は一人でイスに座って、繰り返し自分の頭をたたいていましたが、先生が隣に来ると頭をたたくことを止めました。
- ③ X君は、イスに座り興奮気味に体を前後に揺らしています。先生が彼をロッキングチェアに連れて行くと、それに座って揺れを楽しみました。

①では、「タブレット端末（**具体物**）」が強化子であり、それを返してもらう（得る）ために「たたく」という問題行動をしています。

②では、「先生が隣に来る（**注目・反応**）」が（人的な）強化子であり、それを得るために自傷行為である「繰り返し自分の頭をたたく」＝「注意引き」という問題行動をしています。

③では、「揺れ（**感覚**）」が強化子であり、自分で創り出す（得る）ために「興奮気味に体を前後に揺る」という問題行動をしています。

強化子を獲得する行動をまとめると、次のようになります。

〈強化子の獲得〉

- | | | |
|---------------|---|---------|
| 1 注目・反応（注意喚起） | → | 「人的強化子」 |
| 2 具体物・活動 | → | 「物的強化子」 |
| 3 感覚 | → | 「物的強化子」 |

※強化子については、「第6版」もご参考ください。

以上、細かくみると3種類に分けられ、さらに「人的」と「物的」の違いもありますが、いずれにしても好きだったり、欲しかったり、楽しかったり、気分がよくなったりするものを得るための問題行動を「強化子の獲得」といいます。前号の「子どもが買い物に行き、おもちゃの前で『泣く』」も「強化子の獲得」になります。



2 なぜそうするのか？ ～ 回避あるいは逃避する行動 ～

- ① Y君は美術室にいました。先生が絵を描いてもらうために、彼に絵の具と筆を渡そうとすると、彼はそれを取って床に投げました。
- ② Y君は作業の時間、新しい課題を行うために着席するように言われました。作業の間、彼はトイレに行きたいことを繰り返し伝えていました。
- ③ Y君の学級は水泳学習の時間でした。Y君はプールに入ると大声で長く泣き続けました。先生が、彼をプールから離れた場所に連れて行くと、彼は泣き止みました。
- ④ Y君は歯科検診のため保健室にいました。彼が順番を待っていると、検診を受けている生徒が大きな声で泣き出しました。Y君は先生に何も告げずに保健室から急いで出て行きました。

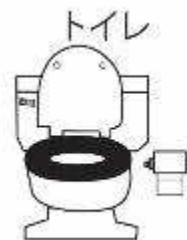
①では、「絵の具と筆を床に投げる」という問題行動をすることで、「絵を描く」活動から回避（逃避）しています。

②では、「トイレに行きたいと繰り返して言う」という問題行動をすることで、「新しい課題に取り組む」活動から回避（逃避）しようとしています。

③では、「大声で長く泣き続ける」という問題行動をすることで、「泳ぐ」活動や「プール」という場所から回避（逃避）しています。

④では、「何も告げずに急いで出て行く」という問題行動をすることで、鳴き声が聞こえる場所（状況）から回避（逃避）しています。

このように、ある活動や場所、強要などを避けるための問題行動を「回避（逃避）」といいます。前号の「子どもが虫歯治療のため連れて行った病院の前で『泣く』」も「回避（逃避）」になります。



「強化子の獲得」も「回避（逃避）」も行動の結果、本人にいいことが起こります。「強化子の獲得」は「正の強化」であり、「回避（逃避）」は「負の強化」になります。「正の強化」「負の強化」については「第12版」で詳細を述べていますが、そこでは「いい結果が起こればその行動をこれからもするように学習する」とも述べています。本人にいいことが起こってきたという過去の積み重ねが、「強化子の獲得」「回避（逃避）」という問題行動を強化したことになります。

今回は「強化子の獲得」と「回避（逃避）」を分けて説明しましたが、例えば、

XY君は、国語の授業で漢字の学習が始まると、大声で泣き叫び始めました。先生は「どうしたの？」など言葉を掛けながら側に来ました。

ということが、あったとします。

「大声で泣き叫ぶ」という問題行動をすることで、「漢字の学習」から「回避（逃避）」するとともに、「大声が泣き叫ぶ」が注意引きとなり「先生が側に来る（注目・反応）」という強化子を得ています。このように2つの機能を持っていることも、実際には多いようです。

3つめの機能については、また次回に。【1月発行第13版に続く】

